

# 関西学院大学 大学院 教育学研究科

## Graduate School of Education, Kwansai Gakuin University

### 教育理念、目的 Mission

教育学研究科は、人間一人ひとりの〈いのち〉が、唯一無二の贈与であることへの畏敬をもとに「子ども理解」を深め、「教育とは何か」「人間とは何か」「共生とは何か」を根源的に問い続けながら、生涯にわたる人間形成上の諸問題に向き合う教育と研究を行うことを目指しています。その際、家庭、地域、学校など広く社会全般の人間関係、異なる世代間の関係を全体的に視野に入れ、社会貢献に繋がるような研究を重視します。そのためには、関西学院の「学びと探究の共同体」の特徴を十分に活かして、様々な学びと研究を連動させ、大学院生それぞれの研究に活かすことを奨励します。教育学は、保育や教育の実践との結び付きが強い学問ですが、システムに則った実効性ばかりを追求するわけではありません。一つの〈いのち〉が誕生し、人々との交わりの中で自然と文化に触れ、共に学び合い、やがて子を産み育て、老いて死に至る。そこにおける様々な相互行為と生成変化を研究対象とし、そうした行為や事象の「意味」を学際的に問い直すことが重要だと考えます。

今日の価値観が多様で不確実な状況においては、お互いのライフ・ミッション（生涯課題）の実現へ向けて「共生」するインクルーシブな社会形成への気概をもち、意味豊かに世代継承していくための普遍的な営み（=要：かなめ）としての保育・教育に、世界市民の一員としての使命（ミッション）を自覚することが大切です。このような気概と自覚を自ら育みながら、広く深い教養としなやかな批判意識をもって、現代の複雑で困難な教育環境や人間形成上の問題に向き合うことができるような研究者、そして、こうした学識と専門性によって奉仕的なリーダーシップを発揮することのできるような高度な実践者を育てることが本研究科の目的です。

### カリキュラムポリシー Curriculum policy

教育学研究科は教育学を専攻とし、**乳幼児教育研究領域**と**共生教育研究領域**の2つの研究領域を設け、乳幼児教育学、教育哲学、教育心理学、発達心理学、教育社会学、学校教育学、臨床教育学、環境学、福祉学や教科内容（文化）の研究等の学問的アプローチから、教育・保育に関連する事象や問題について追究します。

乳幼児教育研究領域では、乳幼児教育に関連する現場（幼稚園、保育所、認定こども園、保育所以外の児童福祉施設等）での実践や子どもの家庭・地域による教育に密着した研究、児童期以降の発達との連続性や小学校教育との円滑な接続、乳幼児を取り巻く環境の多様性を視野に入れた研究を重視しています。

共生教育研究領域では、「共に生きるとは？」という問いのもと、共生する地球社会、共生する家庭・地域・学校の在り方、そこにおいて相互に学び合い、成長し合う教育の在り方を、学校教育学や臨床教育学等それぞれの専門分野の知見に基づいて探究することを重視しています。

前期課程においては各領域内に、前期課程から後期課程への5年間の学びを見据え、研究者に求められる資質の育成をねらいとした**研究者養成コース**と、指導的立場を担える教育者・実践者に求められる資質の育成をねらいとした**高度教育コース**を設けています。両コースとも、修士論文の作成を最終目標としています。なお、幼稚園、小学校、中学校（社会）、高校（公民）の専修免許の取得が可能です。

後期課程においては、指導教員の下で博士論文の作成を主たる目的とします。この目的を下支えするために自らの専門性や研究テーマをより広い見地から位置づけ、意味づけることを目指して、後期課程独自のコースワークが行われます。

教育とは何か 人間とは何か 共生とは何か  
人間形成上の諸問題に向き合う教育と研究

乳幼児教育  
研究領域



共生教育  
研究領域



乳幼児教育  
研究領域

研究者  
養成コース  
前期課程  
(2年) 修士  
学位

前期課程  
(2年) 修士  
学位

後期課程  
(3年) 博士  
学位

学術的貢献と発信ができる  
研究者

共生教育  
研究領域

研究者  
養成コース  
前期課程  
(2年) 修士  
学位

前期課程  
(2年) 修士  
学位

後期課程  
(3年) 博士  
学位

学術的貢献と発信ができる  
研究者  
高度な専門知識、技能、研究マインド  
を持つ教育者・実践者



# 世界の実態から学ぶことで 男性保育者の存在意義を問い直し、 保育現場の常識を変えたい。

「保育所や幼稚園には、なぜ男の先生が少ないんだろう？」中学2年の時の職場体験で感じた素朴な疑問が、私が保育の道を選んだきっかけです。しかし、友人と話していても男性が保育の仕事につけること自体も知られておらず、とてもショックを受けました。以来、志はずっと変わらず、大学では幼児教育を学び、より専門的に男性保育者についての理解を深めたいと考え、大学院への進学を決めました。

日本の男性保育者についての論文等は数も少なく、幅広く海外の知見も取り入れながら研究を続けています。特に注目しているのは、保育先進国であり、ヨーロッパで最も男性保育者が多いデンマークです。去年はデンマークの保育施設を訪問し、インタビュー調査を行ったのですが、デンマークの実態から日本の男性保育者の将来を展望しうる大変有意義なものになりました。後期課程で研究を続けたいと考えており、その際半年間留学し、デンマークの幼児教育を体系的に学べるプログラムに参加する計画をたてています。デンマークにおける保育の歴史的、思想的な研究を進め、その実態をつかみ、日本の男性保育者の保育現場へのさらなる参画、発展に貢献できればと考えています。

また、今年は「日本保育学会」に初めて参加し、「日本の男性保育者の将来」をテーマに発表を行いました。日本全国の保育現場で活躍する多くの男性保育者と話す機会があり、私たちの研究が必要とされて

上田 星さん

教育学研究科  
教育学専攻乳幼児教育研究領域  
研究者養成コース 前期課程2年



いることを実感し、研究への意欲がますます湧いてきました。

大学院と大学の一番の違いは、少人数制でよりきめ細かく学びを深められることです。先生との距離が近く、また他の領域の大学院生や他大学の学生とも話す機会が多く、学部生の時とは比較にならないほど視野が広がりました。日々の研究が本当に楽しく、休日もほとんど研究室に来て勉強しています。

現在、日本は保育施設の量的拡充を目指している段階ですが、今後は保育全体の質の向上が求められます。人的環境としての保育者の役割という視点から、男女の保育者が自然にいる環境を整えることが、一人ひとりの子どもの個性を尊重する保育につながると思っています。また、社会全体においても家庭での家事、育児も男女平等の分担が進む時代にある中で、今、保育会に改めて「男性保育者」という視点から、一石を投じなければならぬと考えています。



■博士課程前期課程各領域・コース履修モデル ※「履修モデル」はあくまで履修計画を立てる上での一例です。年度によっては開講していない科目もあります。実際にどの科目を履修するかは、指導教員の指示のもと選択してください。

乳幼児教育研究領域 研究者養成コース					
学年	学期	研究基礎科目	研究演習	領域専門科目	単位 合計
1年生	春学期	教育統計研究法	2	子ども家庭福祉学特殊講義A	2
		乳幼児教育特殊講義	2	乳幼児教育思想史特殊講義	2
		教育社会学特殊講義	2		
1年生	秋学期		2	キリスト教保育特殊講義	2
		質的教育研究法	2	子ども家庭福祉学特殊講義C	2
2年生	春学期	発達心理学特殊講義A	2	乳幼児教育学内容特殊講義(環境)	2
		教育心理学特殊講義	2	乳幼児教育学内容特殊講義(人間関係)	2
2年生	秋学期	修得単位	12		12
		必要単位	12		8
					32

乳幼児教育研究領域 高度教育コース					
学年	学期	研究基礎科目	研究演習/フィールドワーク科目	領域専門科目	単位 合計
1年生	春学期	質的教育研究法	2	乳幼児教育学内容特殊講義(言葉)	2
			2	子ども家庭福祉学特殊講義C	2
1年生	秋学期	教育心理学特殊講義	2	教育人間学特殊講義	2
			2	乳幼児教育思想史特殊講義	2
2年生	春学期	教育統計研究法	2	乳幼児教育学内容特殊講義(健康)	2
			2	乳幼児教育学内容特殊講義(表現I)	2
2年生	秋学期	発達臨床学特殊講義	2	発達臨床学特殊講義	2
			2	臨床教育特殊講義F	2
					16
					32

## 入試情報

【入試案内】 ※詳しくは関西学院大学HPにてご確認ください。

### ■専攻・領域・コース・募集人員

専攻	領域	コース・入試制度	募集人員
教育学	乳幼児教育研究領域	研究者養成コース	6名
		高度教育コース	
	共生教育研究領域	正規学生(一般)	
		特別学生(一般・外国人留学生)	

※関西学院大学教育学部卒業見込みの学生を対象に教育学研究科博士課程前期課程(各領域とも研究者養成コースのみ)への推薦入学試験を実施しております。出願資格・時期等は、掲示(例年5月頃)にてお知らせします。

### 後期課程

専攻	領域・入試制度	募集人員
教育学	乳幼児教育研究領域 共生教育研究領域	3名

※関西学院大学大学院教育学研究科博士課程前期課程研究者養成コース修了見込みの学生を対象に教育学研究科博士課程後期課程への推薦入学試験を実施しております。出願資格・時期等は、掲示にてお知らせします。

### ■試験科目

課程	募集時期	コース・試験科目	専門科目について
前期課程	第1次入試(9月)	研究者養成コース	※乳幼児教育研究領域は保育学、心理学等から出題する。 ※共生教育研究領域は教育学、心理学等から出題する。
	第2次入試(2月)	高度教育コース	
後期課程	第2次入試(2月)	専門科目 <sup>※</sup> 、専門外国語(英語)、口頭試問	

### ■過去の入試問題

過去3年分の問題を公開しています。ご希望の方は教育学研究科事務室までお問い合わせください。

### 【ガイダンス・研究報告会】

大学院進学相談会を年2回(6月、11月)に実施しております。教育学研究科の説明のほか、現役の大学院生との懇話や、大学院棟見学の機会を設けております。また、教育学研究科在籍の院生が研究の進捗・研究成果について報告・発表を行う研究報告会を年1回(2018年度は2019年2月23日:西宮聖和キャンパス)実施しております。ご興味ある方はぜひお越しください。

ビオトープの研究を通して、  
子どもたちに「人と自然」が共生できる  
環境づくりの大切さを伝えたい。



大河内 友翔さん

教育学研究科  
教育学専攻共生教育研究領域  
高度教育コース 前期課程2年

ビオトープとは様々な生き物が共生できる人工的な場所のことで、1970年代にドイツでつくられるようになり、日本でも関心が高まって多くの教育現場で取り入れられました。しかし維持管理や安全面の問題などで、その後は放置されているところが多く、私の小学校時代も例に漏れず、子どもながらにもつたいないと感じていました。小学校教師を目指して進学した教育学部のゼミで初めて「環境教育」に触れ、子どもたちが自然環境について学ぶ大切さを実感すると同時に、ビオトープの復興がその大きな鍵を握るのではないかと考え、以来その研究にのめり込んでいます。

現在は、西宮市の公立小学校8校にあるビオトープの調査研究を進めています。一年間かけて現状を把握するための調査を行なったところ、放置されていた多くのビオトープで周囲の自然環境と匹敵するほどの豊かな生態系が築かれており、とても驚きました。そうした研究結果を各学校の校長先生にお渡ししたり、子どもたちにミニ授業をしました。また先生方にビオトープ活用に関する教育研修も行っています。調査資料や研究結果を示し、展望をきちんと提案することで先生方が動いてくださることに感謝するとともに、大きなやりがいを感じています。人と自然が共生できる環境づくりが、子どもたちへの豊かな学びにつながる可能性を今後も追求していきたいです。

また、このビオトープの研究は「都市部の生物多様性を保全する」というもうひとつの重要なテーマも含んでいます。現在、世界の人口の7割が都市部に集中し、一年で約30万種もの生き物が絶滅しているといわれており、2050年にはペット以外の自然生物はすべて絶滅するという統計もあります。そうした危機的状況を打開するためにも、都市部の学校ビオトープの普及は地域における環境保全の中継地点になるのではと期待しています。

大学院で学ぶことの大きな魅力は、前期課程で研究の方法をしっかり学べ、さらに後期課程でそれらを実践できることです。私の場合、前期課程を終えると一旦、小学校教師として教育現場に身を置き、後期課程では研究と現場で培った知識や経験を活かし、教育と環境の橋渡しの存在として地域に貢献したいと考えています。



■博士課程前期課程各領域・コース履修モデル ※「履修モデル」はあくまで履修計画を立てる上での一例です。年度によっては開講していない科目もあります。実際にどの科目を履修するかは、指導教員の指示のもと選択してください。

共生教育研究領域 研究者養成コース							
	研究基礎科目	単位	研究演習	単位	領域専門科目	単位	合計
1年生 春学期	教育統計研究法	2	教育学研究演習	2	子ども家庭福祉学特殊講義A	2	
	質的教育研究法	2			臨床教育学特殊講義B	2	
	発達心理学特殊講義B	2					
1年生 秋学期	教育社会学特殊講義	2	教育学研究演習	2	初等教育学内容特殊講義(道徳教育・特別活動)	2	
					学校教育学特殊講義	2	
2年生 春学期	教育哲学特殊講義	2	教育学研究演習	2	教育方法学特殊講義	2	
					初等教育課程特殊講義	2	
2年生 秋学期	教育心理学特殊講義	2	教育学研究演習	2			
	修得単位			8			12
	必要単位	12		8			32

共生教育研究領域 高度教育コース							
	研究基礎科目	単位	研究演習/フィールドワーク科目	単位	領域専門科目	単位	合計
1年生 春学期	教育哲学特殊講義	2	教育学研究演習	2	初等教育学内容特殊講義(理科)	2	
	教育社会学特殊講義	2			特別支援教育学特殊講義A	2	
1年生 秋学期			教育学研究演習	2	初等教育学内容特殊講義(総合・生活)	2	
			教育研究フィールドワーク	2	初等教育思想史特殊講義	2	
2年生 春学期	発達心理学特殊講義B	2	教育学研究演習	2	特別支援教育学特殊講義B	2	
					教育人間学特殊講義	2	
2年生 秋学期			教育学研究演習	2	特別支援教育学特殊講義C	2	
					乳幼児教育学内容特殊講義(健康)	2	
	修得単位	6		10			16
必要単位	2		10			32	

## 学費、研究奨励制度

### 【入学金、授業料に関して】

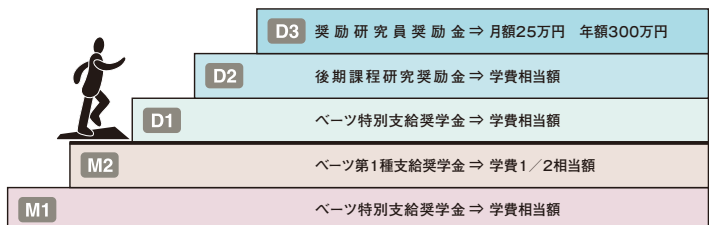
・入学金は入学時のみ。院内進学者の入学金は、前期課程は半額、後期課程は全額を免除されます。( )内は年間納入額。詳細は、最新の入試要項にてご確認ください。

### 2019年度入学生学費

	【博士課程前期課程】	【博士課程後期課程】
入 学 金	200,000	200,000
授 業 料	343,500 (687,000)	216,000 (432,000)
教育充実費	103,500 (207,000)	65,500 (131,000)
合 計	647,000 (1,094,000)	481,500 (763,000)

### 【関西学院大学独自の支援制度(一例)】

本学部を卒業して文系研究科後期課程まで進学した場合、学年に応じて以下のような支援制度を設けています。(各制度で選考を行います)



# 日本と中国、2つの言語環境で育った経験から、 同じ境遇の子どもを支援するための 研究に没頭しています。

王 笑桜さん

教育学研究科

教育学専攻乳幼児教育研究領域

後期課程1年

私は日本で生まれ、9歳まで日本で育ちました。家庭での日常会話は中国語だったのですが、母国の中国の学校に入ったとき、先生の言葉がまったく理解できずとても戸惑いました。日常生活で困らない生活言語能力はあっても、勉強に必要な思考言語能力が備わっていませんでした。生活言語は、その環境に入って1~2年で習得できるのに対し、思考言語の習得は5~10年もの長い期間を要するといわれています。母語がすっかり身につけていないと、両方とも中途半端になり、教科学習についていけないということが起こるのです。私のように2つの言語環境で育ち、同じ苦労をしている子どもは多いはず。そんな子どもたちのためにどうすればいいだろう？ 中国での大学時代は日本語学科に在籍し、日本語を学ぶかたわら、ずっとこの課題について考えていました。関学の教育学研究科への進学を決めたのは、私が関心のある分野でトップレベルの研究に取り組んでおられる先生のことを知り、その先生のもとで自分の研究を深めていきたいと思ったからです。

前期課程では、「就学前教育・保育施設における『外国につながる子ども』の言語指導に関する一考察」として調査研究を行いました。保育所に通う中国人の子どもに焦点をあて、言葉の育ちや、まわりの子どもや先生との関係について一年間観察や取材を続けました。そうして特定の子どもの現状を把握して種々の課題を提示しました。後期課程では前期課程での研究を完結させるべく、就学前の子どもへの具体的

的な支援方法をはじめ、就学後のスムーズな移行に対してもどのような援助ができるかなど、量・質ともにより深く研究を進めたいと考えています。

また、後期課程ならではの魅力はコースワーク科目があることです。6人の先生方が自分の専門分野について交代で授業をしてくださるのですが、日本の教育の思想や哲学、歴史などがわかり、留学生の私にはとても興味深い内容です。例えば哲学の授業では、「教育とは何か？」という根本的な問いを取り上げられ、中国で学ぶ政治的な側面を持つ哲学との違いに驚くとともに、自分の教育観の原点に立ち戻る機会となりました。様々な考え方をすることで自分の研究を一步引いて見直すことができ、研究につながる新たな視点を得られます。私の研究テーマは日本の教育現場と直結しているので、将来は現場での経験も積み、研究者としての知見を深めていきたいと考えています。



## 教育学研究科において取得できる 教育職員免許状の種類と教科(2018年度)

当該免許に係る各職種、各教科の一種免許状を取得、または取得見込みの者で、修士課程の所定の科目及び単位数を修得することで以下の専修免許状を取得することができます。

専攻名	免許状の種類
教育学	幼稚園専修、小学校専修 中学専修、社会、高校専修、公民

※教職課程再課程認定申請中(平成30年度審査)。文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります。

## 修了者の主な就職先

兵庫県教育委員会	(学)大阪城南女子短期大学
丸亀市教育委員会	(学)池坊短期大学
(学)関西学院幼稚園	(学)広島女学院
(学)聖母被昇天学院幼稚園	(社福)飛鳥学院
(学)三幸学園(専門学校)	(社福)奈佐原寮
(学)薫英学園 大阪人間科学大学	(社福)同胞会どうほうの家
(学)甲子園短期大学	(株)ポーネルド

## 教育学研究科/担当教員(2018年11月現在)

(五十音順)

井頭 均	教授	理科教育、生物学教育、保育内容環境
泉 恵美子*	教授	英語教育、コミュニケーション、授業と評価
稲富 眞彦	教授	発達障害の変容特性と教育方法
今津屋直子	教授	食育、小児栄養、家庭科教育に関する研究
岩坂 二規	准教授	グローバル・シティズンシップ教育、ユースワーク
岡本 哲雄	教授	意味と受苦の人間形成論、ニヒリズムと教育の臨床知
オムリ慶子	教授	日本・諸外国における幼児教育の歴史・思想研究
梶原 直美	准教授	歴史神学、死生観、宗教倫理学
清原 知二	教授	美術教育、造形教育の研究、教材研究(乳幼児・児童)
金田 茂裕	准教授	子ども・大人の教授学習に関する教育認知心理学研究
栗山 誠	教授	乳・幼児期の造形表現研究、子どもの描画活動の研究
齋木喜美子	教授	日本児童文学・絵本史研究、近現代沖縄の児童文化研究
佐藤 真	教授	教育課程・教育方法・教育評価に関する研究
依藤 知己	教授	特別な教育的ニーズ、インクルーシブ教育、外国教育制度
菅原 伸康	教授	知的・重複・学習障壁児の教育学的支援に関する研究
高井由起子	准教授	親密な関係性における暴力にかかわる諸問題の研究
辰己 隆	教授	子ども家庭福祉学における社会的養護に関する研究

谷村 宏子	教授	乳幼児期の音楽的表現に関する研究・音楽療法
富江 英俊	教授	道徳教育・教育社会学・教育制度論
中尾 正広	教授	低次元トポロジーと算数・数学教育
中村 千晶	准教授	乳幼児の音楽表現、幼児音楽教育の研究
橋本 真紀	教授	地域を基盤とした子育て支援に関する研究
橋本 祐子	教授	乳幼児期の社会性・道徳性の発達と保育実践の研究
原田 大介	准教授	国語科教育、授業研究、インクルーシブ教育
日浦 直美	教授	乳幼児期の人間関係とその援助に関する研究
藤井 恭子	教授	アイデンティティと対人関係に関する生涯発達
藤木 大三	教授	幼児・初等体育に関わる総合的研究(特にボールゲーム)
増山 初子	教授	日本近現代文芸研究、および児童文学研究
湊 秋作	教授	環境教育・生物教育、動物学
峯岸 由治	教授	社会科・生活科・総合的学習の授業構成やカリキュラムの研究
宮本健市郎	教授	アメリカ進歩主義教育の思想と実践に関する歴史的研究
山本 健治	教授	不登校問題等に関する学校臨床心理学的研究
渡邊 伸樹	教授	学校数学(算数)の教育内容・教材・カリキュラム開発の研究

※2019年4月着任予定